

令和7年度第2回柏市社会教育委員会議会議録

1 開催日時

令和8年1月23日（金）午後2時から午後4時

2 開催場所

ラコルタ柏 4階集会室1・2・3

柏市柏5-8-12

3 出席者

（委員）

荒井議長，土屋副議長，山田委員，増田委員，鈴木委員，大石委員，澤田委員，高橋委員，五味田委員，大塚委員，野村委員

（事務局）

宮本生涯学習部長，村山中央公民館長，田所アフタースクール課長，森川図書館長，田中生涯学習課長，生涯学習課竹内主幹，同廣瀬主査，同岡田主事，同蒔拔生涯学習専門アドバイザー，同岩渕生涯学習専門アドバイザー，同岡野生涯学習専門アドバイザー，影山コーディネーター

4 内容

(1) 開会

(2) 生涯学習部長あいさつ

(3) 議長あいさつ

(4) 前回会議のふりかえり

(5) 協議事項（グループワーク）

ア 家庭でのアプローチを実践するとしたら，子どもを取り巻くどのような現状が壁となるのか

イ アで挙げた壁を突破しようとする時，「みんなの子育て広場で取り組む壁の優先順位付け

(6) 事務連絡

(7) 閉会

※資料においてグラフィックレコーディングの実施について記載し

ているが、会議の進行形式の都合により、今回は実施しなかった。

5 会議概要

(1) 前回会議の振り返り

事務局から会議資料に沿って説明。

(2) テーマ説明について

事務局から、テーマ説明を行った。

(3) 協議事項（グループワーク）

ア 家庭でのアプローチを実践するとしたら、子どもを取り巻くどのような現状が壁となるのか

【A班発表・増田委員】

最初に、現在は保護者や家庭に「ゆとり」や「余裕」が少なくなっているのではないかという話題が出た。これは時間的な余裕だけでなく、精神的な余裕、経済的な事情、疲労など身体的な問題も関係しているのではないかという意見であった。

また、情報に関する話題にもつながり、現在はさまざまな情報が多く入ってくる一方で、何が正しいのか判断しづらい状況があるとの意見があった。例えば、身近な家庭がどのような子育てをしているのかといった実際の様子が分かりにくいこともあり、参考にしづらい面があるとの意見があった。

さらに、時代の変化により、以前は良いとされていた方法が現在では適切でないと言われることもあり、コンプライアンスやハラメントなどの問題も含め、さまざまな配慮が求められる状況になっているとの意見があった。

このような背景の中で、親子関係についても、現在と過去では状況が異なってきているのではないかという話題が出され、時代の変化についての意見が出た。

【B班発表・土屋委員】

情報化が進む中で、家庭教育を取り巻く状況が複雑化しているのではないかとの意見があった。また、保護者と地域との関わり方についても、今後考えていくべき重要な視点ではないかという意見があった。

さらに、子どもが失敗しないように事前に環境を整えたり配慮

したりすることが多くなっているが、そのことがかえって子ども自身が直面する課題や困難に気づきにくくしているのではないかとの意見も出された。

加えて、情報やコミュニケーションの多様化が進む中で、どのように情報を整理し、評価していくのかについても課題があるとの意見が挙げられた。

イ アで挙げた壁を突破しようとする時、「みんなの子育て広場で取り組む壁の優先順位付け
班ごとに話し合い、優先順位付けをした。

6 傍聴者

1 人

以上